

Arcserve® Email Archiving ソリューションの概要

はじめに

メールはあらゆる企業にとって重要であり、利用者の生産性向上、コンプライアンス、証拠開示のために保存する必要があります。従来のメールアーカイブは一般的に、Microsoft 365 や他のメールサーバのメールの負荷を軽減し、開示やコンプライアンスのために保存されていました。しかし、最近では、機器が耐用年数に近づいたり、ストレージ要件が変化していることで、従来のメールアーカイブに代わる新しいメールアーカイブソリューションが登場しました。Arcserve® Email Archiving は、最新の要件に対応可能なメールアーカイブソリューションです。

- メールの検索、監査証跡、レポート、保持管理、セキュリティ強化のための役割ベースのアクセス制御などの高度な機能を提供するシンプルですぐに運用を開始できるソリューションです。
- Microsoft 365 /MS Exchange のお客様は、送受信されたメールのジャーナルから簡単に、Microsoft 365 以外の場所に格納することができます。
- リモートまたは拠点、サービスプロバイダからの展開など、分散した企業であってもメールを最適にアーカイブ管理することができます。マルチテナント機能により、大企業は複数の部門や拠点を管理することができますので、複数のエンドユーザをサポートするサービスプロバイダの商材としても利用いただけます。

Arcserve Email Archiving は、メールアーカイブのストレージを最適化し、企業のメールレコードを保持し、監査や証拠開示のために簡単にアクセスするための専用のメールアーカイブソリューションです。Arcserve Email Archiving は、主なメールプラットフォームをすべてサポートしており、メールサーバにはソフトウェアをインストールする必要がありません。Arcserve Email Archiving は、コンプライアンス遵守のために送受信されるすべてのメールのコピーを受信するように設定されますが、過去メールを PST ファイルから長期保存するために取り込むこともできます。Arcserve Email Archiving は、VMware、Hyper-V、または Azure 上の仮想マシンとして展開できます。（図 1）



図 1. Arcserve Email Archiving の概要



Microsoft 365 やその他のメールプラットフォームが稼動する企業の場合、Arcserve Email Archiving は、古いメールの保管にかかる負担を排除できますので、メールサーバの性能の向上を図ることができます。クラウドでの利用を計画している（または既に Microsoft 365 などのクラウドベースのメールプラットフォームに移行している）場合、Arcserve Email Archiving は、IT 管理者が送受信したすべてのメールのコピーを保持しますので、メールは安全に保管され、自動的に管理されます。Arcserve Email Archiving は、プライベートクラウドとパブリッククラウドをサポートするマルチテナント対応ソリューションです。

特長と導入のメリット

- » すべてのメールは、送受信時に収集され、完全なテキストインデックス付きで添付ファイルが検索可能になります。暗号化され、法規制へのコンプライアンス要件の保持など、定義された企業ポリシーで変更不可能なレコードとして保存されます。
- » Arcserve Email Archiving は、ストレージコストを上昇させ、メールサーバの性能に悪影響を与えるような、保管された古いメールを格納する負荷を取り除くことで、社内メールプラットフォームの性能を向上させます。
- » プログラム処理で送受信されるすべてのメールのコピーを保持するための規制要件を満たします。
- » 複数の導入オプションを提供するため、パブリック、プライベートクラウド環境のどちらでも最大限の柔軟性を提供します。
- » 複数の部門または拠点を有する企業のニーズに対応する単一か、マルチテナント型アーキテクチャとして提供され、サービスプロバイダの商材としても最適な、個別のアクティビティ管理と課金が可能です。(図 2)
- » 機密情報の検索に従事する者は法的拘束の対象となり、結果として証拠の隠滅を防ぐことができます。
- » Microsoft 365 に移行した（または移行を計画中の）企業は、Microsoft 365 に格納されたメールの紛失や障害に備えて、Arcserve Email Archiving を導入してオンプレミスやクラウドにメールのコピーを保持することができます。
- » 証拠開示や規制監査のために保管されたメールのシンプルで高度な検索を可能にします。法務と IT のスタッフは、古いバックアップが保管されたテープからのリストアや、メール検索に必要な時間を節約できます。
- » 検索結果はタグ/仮想フォルダとメモで管理されます。すべての検索を簡単に取り出せるように保存し、サードパーティの分析ツールや本来のメールフォーマットにエクスポートできます。
- » Arcserve Email Archiving は、すべてのアクティビティの監査とログを使用してアーカイブされたメールを安全に管理します。監査レポートはコンプライアンス、規制やコーポレートガバナンスの要求を満たします。
- » すべてのアーカイブされたメールには、保持期間が満了し、メールが自動的に削除されるまで保持するルールが適用されます。
- » エンドユーザは、使い慣れた Outlook のクライアントを利用し、アーカイブされたメールの検索結果を保存し、どこからでもアクセスできる Web インターフェイスも利用できます。

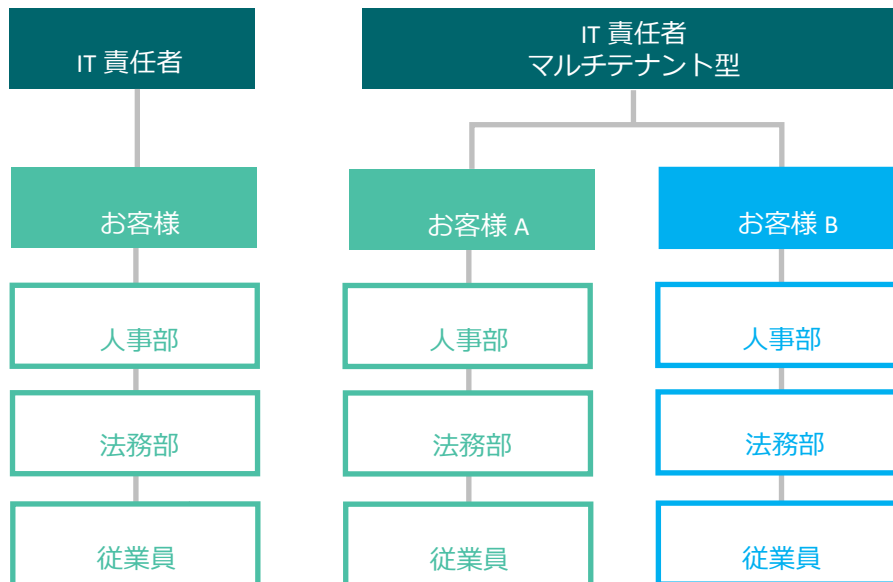


図 2. 単一 対 マルチテナント型 :

マルチテナント型では、大規模な企業の部門や拠点ごとに管理が可能です。

企業の義務とビジネスの促進要因

コンプライアンス - 法規制や業種固有の要件を満たすために、Arcserve Email Archiving は、送受信されたすべてのメールを安全に取り込み、自動的に保管、破棄の管理を行うアーカイブに格納します。許可されたユーザはアーカイブにアクセスして証拠の開示や監査要求に対してメールを検索できます。

レコードの管理 - Arcserve Email Archiving は、企業レコードとして「送受信した」すべてのメールの取り込みと保存を行います。メールは、ユーザが決定した、オンプレミス、またはパブリッククラウドに置かれたアーカイブ用ストレージに安全に保管されます。アーカイブされたデータは常にユーザが所有し、ストレージ上で管理されます。Microsoft 365 などのクラウドベースのメールプラットフォームを利用する企業は、Microsoft 365 へのアクセスが中断された場合にメールのコピーをオンプレミスに持つことも可能です。

法的検索 - Arcserve Email Archiving は、認定されたユーザがメールを検索し、結果を証拠開示や、コンプライアンスの監査のためにエクスポートするための、シンプルで高度な検索機能を提供します。検索結果を瞬時に必要な場合、ユーザは高速検索と直感的な検索インターフェイスを利用できます。検索結果をタグ付けしたり、訴訟ホールドに保持することができます。また、第三者による評価のために選択したメールや、条件を指定し一括エクスポートすることもできます。



ライフサイクル管理 - アーカイブに保存されたメールレコードは、保存ポリシーごとに管理され、レコードがライフサイクル終了時に体系的に削除されます。すべての削除アクティビティがログに記録され、レポートは法的監査とコンプライアンス監査の証拠として実行できます。

確実なメールの取り込み - Arcserve Email Archiving は、Exchange ジャーナルやその他の主要なメールプラットフォームからメールを受信し、これらのメールを取り込み変更不可能なレコードとして保持します。

迅速な検索と取り出し - システム管理者（および許可されたユーザ）は、法律、規制、人事などの要件に基づく、迅速かつ正確なメールレコードのオンデマンド検索が実行できます。検索結果は第三者のレビューのためにエクスポートすることが可能で、これらをタグ付けしたり、削除ポリシーから除外するために訴訟ホールドに保管することもできます。

従業員のアクセス - Arcserve Email Archiving のテクノロジーは、使い慣れた Outlook クライアント GUI に統合することができます。従業員は Outlook を使用しているときはいつでも、アーカイブされた個人メールにアクセスすることも、通常のメールを表示、開封、メール返信、転送することも可能です。

ストレージの最適化 - Arcserve Email Archiving は、重複排除と圧縮を使用して、アーカイブのストレージ領域を削減します。この方法は、メールサーバの性能を向上させながら、メールサーバの記憶域を削減することでコストの節約が可能です。

データの取得 - Arcserve Email Archiving は複数の方法で過去メールをアーカイブすることができます。過去メールを Arcserve Email Archiving にアップロードした PST ファイルや EML ファイルからアーカイブすることも、POP/SMTP 経由でメールボックスから直接取り込むこともできます。さらに Microsoft 365/Exchange の場合は EWS スクリプトを使用して過去メールを取得することが可能です。送受信されたメールはジャーナルから受信するよう構成しておけば、転送されたメールがすべて保管されます。これらのプロセスによって、企業は過去と将来にわたり、メールレコードをアーカイブすることができます。

メールの検索 / 検出

Arcserve Email Archiving は、メール検索とエンドユーザのアクセスを支援するための複数の方法を提供します。メール検索では、システム管理者（および許可されたユーザ）は、Arcserve Email Archiving の Web ベースの GUI からすべてのメールデータの詳細レベルの検索、検索結果のデータをエクスポートすることで証拠開示の要件を満たします。基本の検索は、最もシンプルで高速、しかも「Google のような」簡単なインターフェイスを搭載しているため、システム管理者は検索のキーワードを入力するだけです。

（図 3）検索結果が表示され、レビュー用にアイテムを開いたり、将来の使用のために保存することができます。保存された検索は、タグおよび注釈とともに、データの管理や分類に使用され、検索やケースの管理が容易になります。詳細検索は、「送信者：」「受信者：」「件名：」や日付範囲のフィールドなど、特定のパラメータでの検索を可能にします。（図 4）。検索結果は、裁判所の命令や規制監査に準拠するために保存され、外部の関係者にエクスポートすることができます。



図 3. 監査人による検索

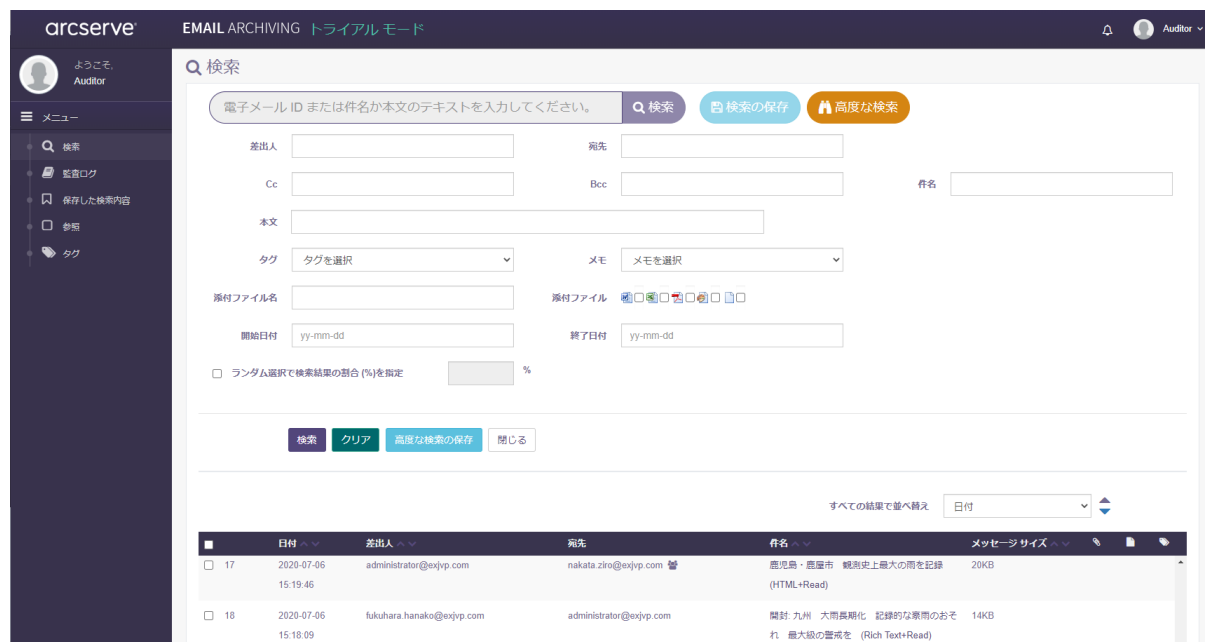


図 4. 監査人による高度な検索

従業員のアクセス

利便性を最大限に高めるため、ユーザは Outlook または Web ベースのログインを介して簡単にアーカイブにアクセスできます。Outlook では、アーカイブフォルダをクリックするだけでアーカイブメールにアクセスでき、基本検索機能や高度な検索機能を活用できます。（図 5）。システムにアクセスしている従業員は、グループ機能を使用して割り当てられたメッセージまたはメッセージのみを表示できます。



ITのコスト削減と効率化

メールサーバの負荷を軽減したい企業は、Arcserve Email Archiving を利用することで、古いメールを安全に保管し、ユーザに簡単なアクセスを提供できます。企業は、すべての過去と将来のメールをアーカイブすることで、メールボックスのサイズを削減し、メールサーバから古いメッセージを削除してコストを削減しながら、性能を向上させることができます。従業員が古いメッセージを必要とする場合は、アーカイブからすばやく取り出せるため、必要なメッセージを紛失、削除した場合でも IT 担当者に連絡する必要はありません。



図 5. 従業員による検索

管理

Arcserve Email Archiving の Web ベースの GUI は、すべての管理コントロールにアクセスし、すべてのアクティビティのサマリを表示するステータス・ダッシュボードを持つホームページを搭載しています。（図 6）システム管理者は、一見するだけで、エンドユーザアクセス、グループポリシーなどを監視するためのレポートを使用して、取り込み処理とストレージの利用状況を監視できます。複数の画面でアーカイブを管理する Arcserve Email Archiving では、システム管理者は SMTP アドレスとサーバホストの IP アドレスを識別するだけです。（図 7）マルチテナントドメインは別の画面で管理されます。（図 8）。

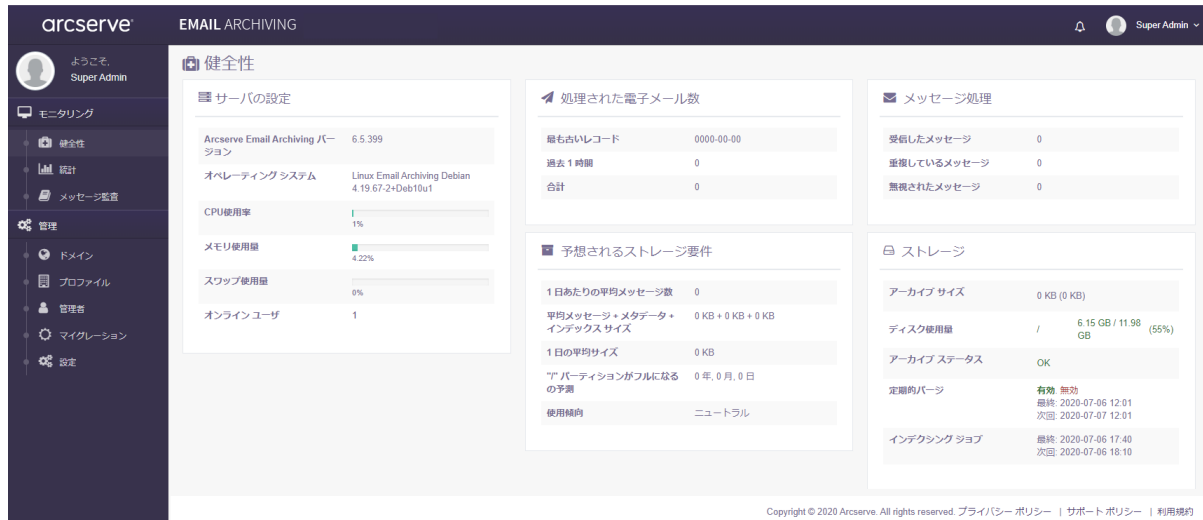


図 6. Arcserve Email Archiving ステータス・ダッシュボード

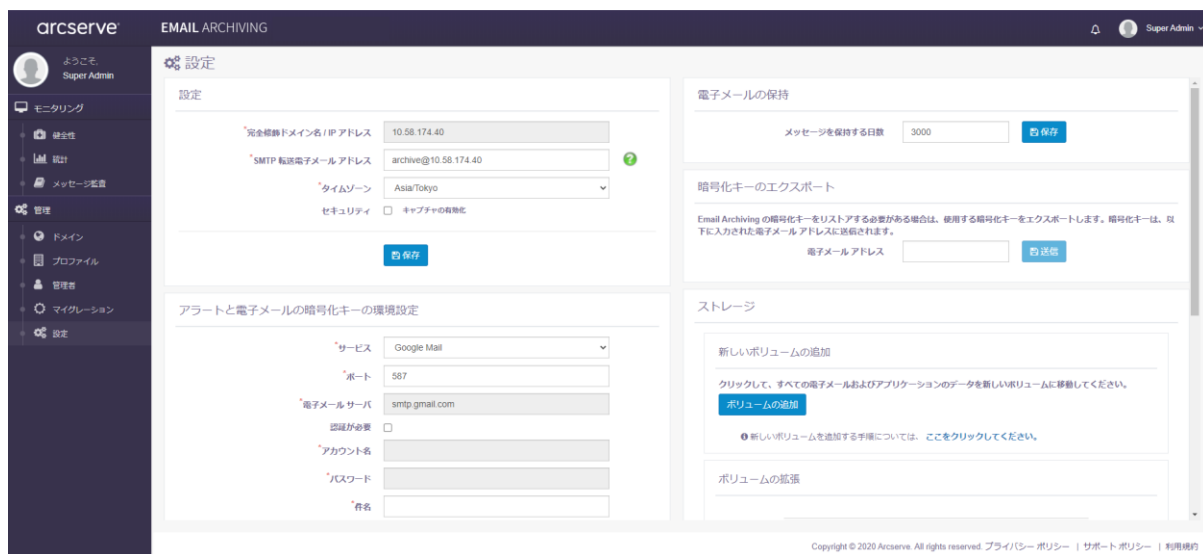


図 7. Arcserve Email Archiving の設定画面



図 8. Arcserve Email Archiving マルチテナントのドメイン設定

セキュリティとコンプライアンス

Arcserve Email Archiving は、アーカイブ内で実行されたアクティビティを追跡するための監査とログなど、セキュリティとコンプライアンスを支援する複数の機能を搭載しています。監査要求に応じて、システム管理者は、アーカイブにアクセスしたすべてのユーザ、アクセス時間、実行された正確なアクティビティのレポートを実行できます。(図 9) 監査報告書とログレポートは、裁判所での係争や規制監査のためのセキュリティの証拠として提出することができます。

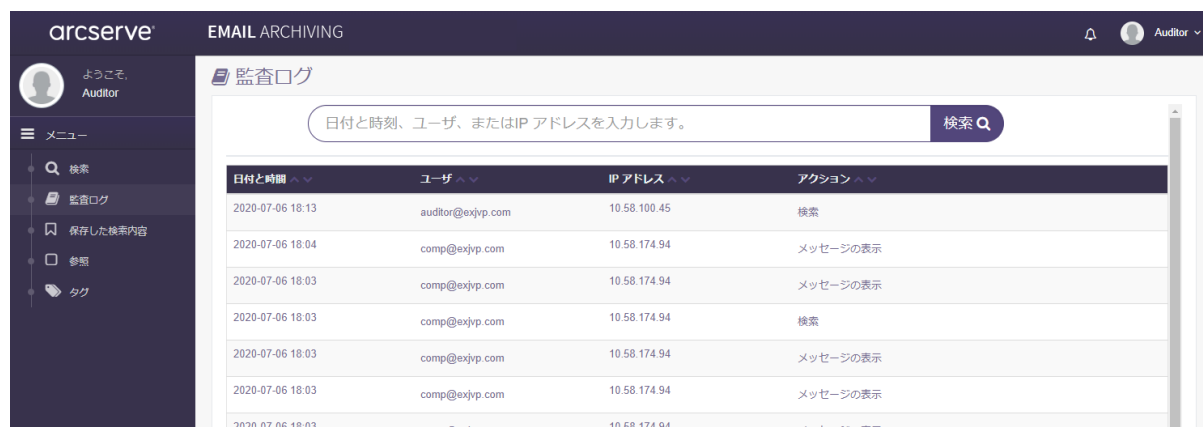


図 9. Arcserve Email Archiving 監査とログレポート



Arcserve Email Archiving は、さまざまなグループやユーザに対して構成できるルールごとにすべてのメールをアーカイブすることで、全社的な保存と廃棄の運用を支援します。（図 10）図 10 は、特定の送信者または受信者、メッセージサイズ、添付ファイルまたはスパムに対して保持ルールを設定する方法を表しています。「保持する日数」機能では、メールを保存する日数がシステムに通知され、保持ルールが期限切れになると、メールデータは自動的に削除されます。全ての保存と廃棄は、その正当性を担保するために追跡されます。

図 10. Arcserve Email Archiving 保持ルールの設定

まとめ

IT の責任者は、予算削減やより小さい IT 部門が標準である時代に、より少ない予算でより多くのことを実施するよう、絶えず求められています。規模の大小にかかわらず、コンプライアンスとリスク軽減のためには、メールの保存と取り込みを最適化できる信頼性の高いソリューションが必要です。Arcserve Email Archiving は、ユーザのドメイン内でシームレスに導入でき、マルチテナントと多言語サポートを必要とするグローバル企業や拠点が分散している企業に最適です。このソリューションは、Arcserve UDP に追加する拡張製品として販売され、IT の運用効率の向上とコスト削減を支援します。

本製品の詳細情報は、arcserve.com/jp をご覧ください。

Copyright © 2020 Arcserve (USA), LLC and its affiliates and subsidiaries. All rights reserved. 参照するすべての登録商標、商標名、ロゴ等はそれぞれの所有者に帰属します。本資料は、情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証（商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます（ただし、これに限定されません））も伴わずに、本資料を「現状有姿」で提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など（ただし、これに限定されません）、本資料に関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。